

2018年
9月

つぼみ伝言板

いづな園こどもの森幼稚園
つぼみ子育てサロン
こどもの森幼稚園 026-239-3302
つぼみ携帯 08069328483

本当に暑かった今年の夏、大人も子どももよく頑張りました！この頃、大きいつぼみさんを中心に子ども同士の関わりた
い気持ちが出てきて、手をつないで一緒に歩く微笑ましい姿が見られるようになりました。手をつなぐのが恥ずかしい子も、
友だちのやっていることをよく見ている、真似をすることが多くなりました。まだ、うちの子は友だちと関わりが見られないな
〜という方も大丈夫ですよ。子どもをよく見てください。友だちの様子を見て、感情はしっかりと働いてコミュニケーション
を学習中です。いつ、どんな風に関わり始めるのか今から楽しみです。

※9月の活動場所は2期の予定表と変更した所が多いので、ご注意ください。



今月の予定

4日(火)

グリーン・ヒルズで遊ぼう！

久しぶりにグリーン・ヒルズの庭で、のびのびと遊びます。
そりで遊んだり、お散歩を楽しみましょう。

集合 10時15分 グリーン・ヒルズの庭

持ち物 ※基本の荷物

《荒天時》グリーン・ヒルズ室内で遊ぶ

6日(木)

戸隠牧場へ行こう！

7月は雨で行かれませんでしたので、プログラムを変更
しました。牧場をお散歩しましょう。小川がありますので、
大人も長靴でお越し下さい。

集合 10時15分 戸隠キャンプ場 牧場前駐車場

※大座法師池から車で20分ほどかかります。
ご自宅は早めにご出発ください。

持ち物 ※基本の荷物・長靴・帽子

※キャンプ場入場料 200円(子どもは不要です)

※川があります。着替えは普段より多めにご用意を！

《荒天時》グリーン・ヒルズ 室内で遊びましょう♡

18日(火) 20日(木)

戸隠天望苑お散歩

戸隠連峰を望むそば畑の中をお散歩します。そばの花が見
られるかもしれません。

集合 10時15分 戸隠天望苑駐車場

※ 天望苑の場所はバードラインを戸隠方向へ進み、『大
久保の茶屋』を過ぎて2キロほど進んだ右側にありま
す。心配な場合はスタッフに聞いてください。

持ち物 ※基本の荷物・帽子

《荒天時》グリーン・ヒルズ室内で遊ぶ

※お天気が良い場合も諸条件により場所の変更があるかも
しれません。その場合はメールプロでご案内いたしますのでよ
ろしくお願いいたします。

25日(火) 27日(木)

八幡原史跡公園

5度にわたって繰り広げられた、武田信玄と上杉謙信の川
中島の戦いの舞台になったのが八幡原です。芝生の広々と
した公園になっています。周囲はクヌギやコナラ木が植えら
れています。

集合 10時15分 八幡原史跡公園駐車場

※ わからない方はスタッフにお尋ねください。

持ち物 ※基本の荷物・長靴・帽子

《荒天時》25日こどもの森幼稚園

27日長野市立博物館(史跡公園敷地内です。
入場料 300円をお持ちください)

11日(火) 13日(木)

幼稚園で遊ぼう！

こどもの森幼稚園の庭で、お友だちと一緒に楽しく遊びましょう。

集合 9時20分 こどもの森幼稚園園舎内

※ 幼稚園プログラムに合わせて普段より早めの開始時間となっ
ています。小さいお子さんはなにかと大変かと思いますが、時
間に余裕を持ってお越し下さい。

※ 終了は1時を予定しております。

持ち物 基本の荷物・長靴・帽子

※ 大人の方も普段どおりの汚れもよい支度でおこしください。



9月の基本の荷物と服装は...

リュック お弁当 午前のおやつ(おにぎりなど一口サイズをおすすめします!) 水筒 シート

ビニール袋 お花摘みバスケット 着替え2~3組 雨具※小雨は外で活動します。セパレートのものでなくても

結構です。必ずご準備ください。どのようなものが良いかわからない方はスタッフにご相談ください。

こどもの森幼稚園 オープン DAY & 新入園児体験！

つぼみ子育てサロンに登録していない方も参加できます。こ
の機会に、お友達をお誘いください。

日時: 9月11日(火)、9月20日(木)

オープン DAY : 10時~12時

新入園児体験 : 9時15分~13時半頃

持ち物: 着替え・帽子・上履き・タオル・飲み物(お茶か水)

体験児はお弁当(幼稚園の説明が13時前)

♪ オープン DAY 参加の方もお弁当をお持ち頂き、園児と一緒に食べて頂けます ♪

7～8月のつぼみ

☆つぼみ夏の親子デー☆

夏の親子デーには、12組の親子にご参加いただきました。坂滑りはスリル満点！どろんこになるかイチカバチかの滑りに盛り上がりました。色水のジュース屋さん、お店屋さんをしているつぼみさんもいました。小学生はとってもきれいな虹色の色水ができた子がいて歓声があがっていました。大人も小学生もみんな童心にかえって遊んだ1日でした。

☆戸隠森林植物園☆

森の中は丸葉のふゆいちごがありました。いちごをたどるように歩いていくと熊の爪痕を見ることができました。木にまたがって電車ごっこをしたり、楽しく歩くことができました。

お弁当を作って、幼い子を連れて出かけるのはほんとに大変だと思いますが、我が子と向き合って過ごしているつぼみの時間はお母さんにとっても成長や気づきにつながる大切な時間です。子育ての楽しさも、時には苦しさも皆で分け合って良い時間にしましょうね。

車に乗るルール大丈夫かな??

その1 チャイルドシートにちゃんと座っていますか？

車社会で命を守る基本です。嫌がるときは休憩を取ったり、お出かけを中止する決断も必要です。「仕方ないなあ～」「今日だけね」という曖昧な気持ちは見抜かれています。命に関わることは「ダメなものはダメ！」の姿勢をとおしましょう。いくら気をつけていても避け切れない事故もあります。必ず装着しましょう。

その2 降りる時、荷物が先で子どもは後

乗る時、子どもが先で荷物が後

駐車場では、手首を持って手をつなぐ

一昨年9月、複合施設の駐車場で1歳9ヶ月の女の子が、お母さんの目の前でママ友の車にひかれるという胸が引き裂かれるような事故がありました。この事故を2度と起こさないことが私たちの使命です。車から降りるときは、荷物の準備もすべて整えて「**手をつなげる状態でお子さんを車から降ろす**」乗るときは、荷物より「**まずお子さんを先にのせる**」駐車場や車の通る場所では「**手首を持って手をつなぐ**」

命はひとつ！みんなで守ろう！

少し前の記事ですが、東洋経済の記事に興味深いものを発見しましたので読んでみてくださいね。↓↓

遊びの「消費者」

東京成徳大学応用心理学部・石崎一記教授の言葉を借りると「遊びの消費者」になっている子どもが増えているという。本来、子どもは遊びの発明家。自然の中に子どもを「放つ」と、枝を何かに見立てたり、石をひたすら積み上げたり。彼らは誰に指示されることなく、勝手に遊びを発明し、時を忘れて遊んでいる。しかし現在は、アミューズメントパークやテーマパーク・遊園地、ワークショップなど、**遊びを「消費する」世界**がさまざまな形で存在している。もちろん、その世界を楽しむことがあってもいいと思う。ただ、気になるのは、自然の中に身をおいても「……で、何をしたらいいの？」と大人に聞いてくる子どもがいるということ。つねに何かを与えられる受け身(主体性がない)の状態というのは、本来の意味からすると子どもらしくない。遊びは自ら創造するもの。創造するから遊びなのである。自ら遊びを発明できる場所で過ごせれば、子どもが持っているはずの創造性、主体性が発揮される。それが自然の中なのだ。

学習力向上にかかせない「意欲」を育む

発達心理、とくに「意欲」に関わる研究を行っている石崎教授によると、**幼児期での体験が、小学生になってからの学習(知識の獲得)に対する意欲にかかわるのだという。**

「人間は『不思議だなあ』と思っていたこと(そのこと自体を忘れていたとしても)の理由を知ると、『そうだったのか!』と強く思い、その時に得た知識を『おもしろい』と感じます。おもしろいと感じれば、それが次の知識欲求につながっていくのです。」

知識欲求が棚だとしたら、幼児期に感じる「不思議だなあ」の気持ちは、引き出した。引き出しがたくさんあるほど、知識を入れることができる。この棚は引き出しが増えるのに合わせて大きくなっていき、その中にたくさんの知識を蓄えることができる。その棚が小さいままだと、入れられる知識は限られてしまう。自然の中には、幼児期の子供が「不思議だな」と思うことがあふれている。「同じ木でも濃い緑の葉っぱと、黄緑色の葉っぱがあるのはなぜ?」「今日のお月様はどうして半分なの?(うさぎはどこにいったの?)」「こないだ、ここにはつららがあったのに、今日はないね」「木って、燃えるときにおいがするね」

大人にとっては当たり前のことを子どもたちは、いちいち不思議に感じている。そんな気持ちが知識欲求につながる大切な引き出しとなっていくのだ。

